

スウェーデン式サウンディング試験

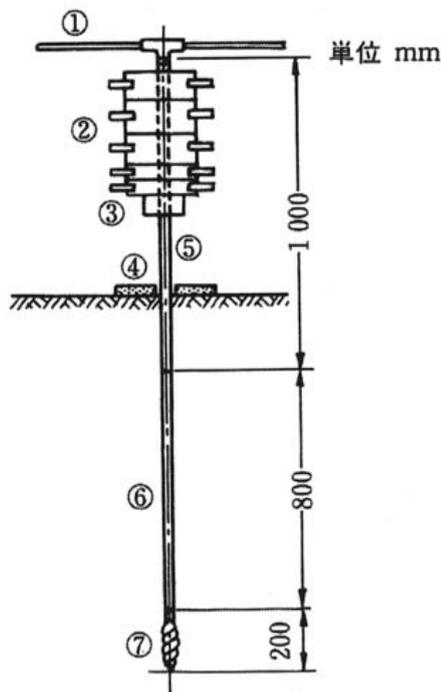
Swedish Weight Sounding

概要

スウェーデン式サウンディング試験は、原位置における土の硬軟、締まり具合または土層の構成を判定するため、土の静的な貫入抵抗(N_{sw} : 1 m当たりの半回転数)を求めるものです。

試験機は、スクリーポイント、ロッド、載荷・回転・引抜き装置で構成されます。本試験は、日本工業規格として規格化(JIS A 1221)されており、人力で押し込み・回転するものが主流です。しかし、近年機械化されたシステムも多用されています。

試験方法は、スクリーポイントにロッドを介して荷重を載荷したときの、荷重と貫入量の関係、および1 kNの荷重で貫入停止後、ロッドを回転させたときの回転数と貫入量との関係を求めるものです。



- ① ハンドル、② おもり、③ 載荷用クランプ、④
- ⑤ 継足しロッド、⑥ スクリーポイント連結ロ
- ⑦ スクリーポイント

図-1 スウェーデン式サウンディング試験機の場合

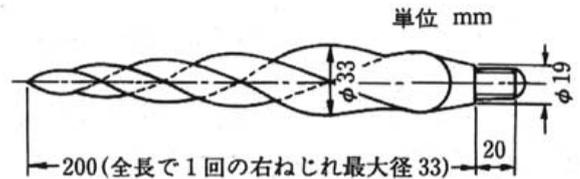


図-2 スクリーポイント

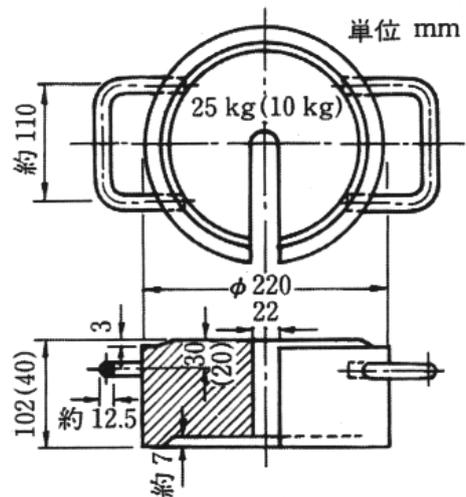


図-3 おもりの例

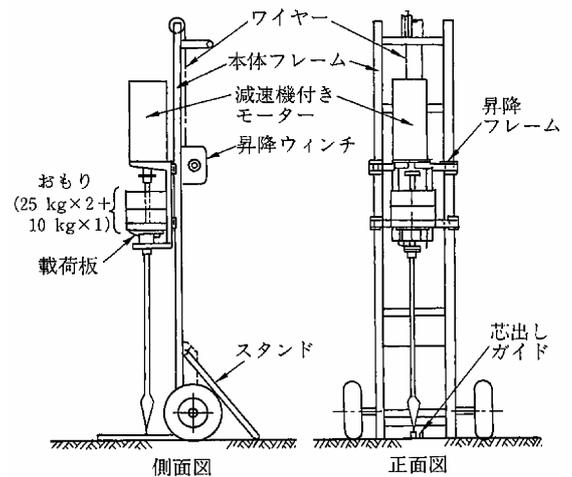


図-4 自動試験機の場合

図-1～図-4：(社)地盤工学会「地盤調査の方法と解説」より



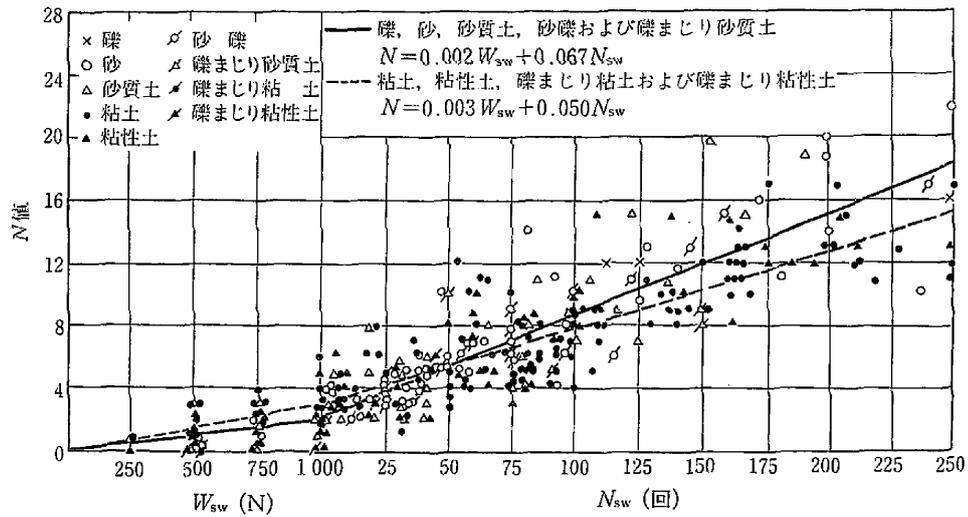


図-5 N値とWsw、Nswとの関係 (稲田に加筆修正)

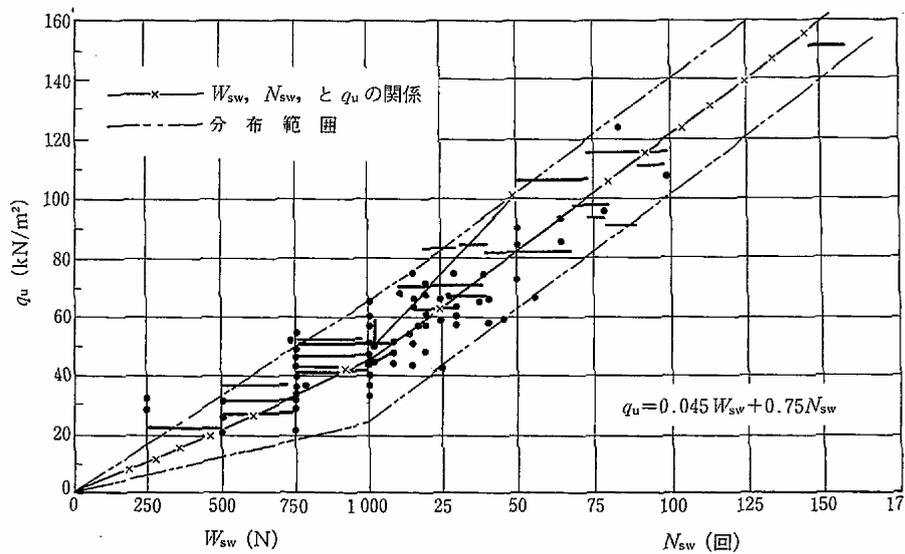


図-6 一軸圧縮強さとWsw、Nswとの関係 (稲田に加筆修正)